



依存防止対策調査 好事例報告

被災ホールが「地域とともに」と決意新たに
～岩手の老舗カネマンが「常に全力で挑戦を」に込めた思い～
2025年度第3四半期の検査結果報告 機構検査部

機構の動き

12～1月度<2025年12月1日～2026年1月31日>

遊技機等への立入検査関係

- 12月度 立入検査店舗数103店舗
(遊技機検査64店舗、計数機検査39店舗)
- 12月末日 誓約書提出店舗数6487店舗(対前月比▲8)
- 1月度 立入検査店舗数106店舗
(遊技機検査79店舗、計数機検査27店舗)
- 1月末日 誓約書提出店舗数6465店舗(対前月比▲22)

依存防止対策調査の関係

- 12月度 依存防止対策調査実施店舗数103店舗
- 12月末日 承諾書提出店舗数6484店舗(対前月比▲8)
- 1月度 依存防止対策調査実施店舗数107店舗
- 1月末日 承諾書提出店舗数6462店舗(対前月比▲22)

会議開催関係

1月20日(火)に定例理事会を開催。2026年度の事業計画案並びに予算案を審議し、承認可決した。あわせて、3月9日(月)に臨時社員総会を開催することを決議し、可決した事業計画案並びに予算案を当社員総会に上程することも確認した。

CONTENTS

3/4 March
April
2026

依存防止対策調査 好事例報告	1
東日本大震災から15年、被災ホールが「地域とともに」と決意新たに ～岩手の老舗カネマンが「常に全力で挑戦を」に込めた思い	2
2025年度第3四半期の検査結果報告 機構検査部	4
5号営業に学ぶ射幸性に頼らない営業 三堀 清	7
店長に求められる知識「計数管理Ⅻ」	10
KiKo NEWS	13

表紙の
はなし



岐阜県 美濃まつり 花みこし

桜色に染まった美濃和紙の花が「おいさ、おいさ」の掛け声とともに入り乱れるように舞う。和紙の町、岐阜県美濃市の美濃まつり。30基ほどの花みこしが練り歩き、桜の花びらが乱舞するかのような「総練り」が祭りのクライマックスだ。

今年は4月11日(土)～12日(日)、「うだつの上がる街並み」美濃市の八幡神社周辺での開催。江戸時代の豪商が競い合うように意匠を凝らした「うだつ」(屋根の両端の防火壁)と花みこしの競演も見どころだ。風刺とシャレをきかせ、最後にオチがつく即興劇「美濃流し仁輪加(にわか)」も両日の夕方から行われ、観客の笑いを誘う。

依存防止対策調査 好事例報告

店舗名:
サンラッキー向日町店(京都府)



「会員登録ブース」に依存防止対策コーナーを効果的、且つわかりやすく設置

店舗名:丸三1号店(島根県)



18歳未満の年齢確認用の早見表
(ネームフォルダの裏面)

店舗名:
エンドレス(岡山県)



休憩所の座席1つ1つに用意されていた「安心パチンコ・パチスロリーフレット」等

2020年1月から開始した依存防止対策調査では、ホールの依存防止対策に関する13項目の取組み「別掲」について確認を行なっています。調査した内容で好事例として他店舗で参考にしてもらいたい取組み等について、好事例の一部を紹介します。今回は主に2025年4月から同9月にかけての調査で確認した事例で、当該店舗の承諾を取った上で内容を公開させていただきます。

その他の事例について

好事例だけではなく、改善すべき点等も本調査では確認されています。

1 日焼け等(紫外線)で退色した掲示物

(1)「18歳未満立入禁止」告知

店舗入口の掲示が多いため、直射日光をまともに受けるケースが多いことから文字部分が退色し、掲示内に視認できない箇所が確認された。

(2)「RSN相談窓口」告知

賞品カウンター付近等、直射日光の影響が少ない場所であっても、当該ポスターが退色劣化している事例があった。

2 認識しづらい掲示

(1)確認しづらい距離での掲示

賞品カウンターの奥に掲示されているため、カウンター越しに文面や内容が確認できないものがあった。(縮小表示も含む)

(2)掲示内容の色彩変更等

ポスターの彩度を低く地味な色合いに変更されている掲示が確認された。(単色、2色等)

縮小しての掲示等、敢えて見づらい掲示にしているとした判断できないものも少なからず確認されました。お客さんの目に触れ、関心を持ってもらうことが重要であるため、そもそも認知できない掲示では意味がありません。未掲示のポスター等については、検査員から立会者へ渡していますが、本調査は基本的に現認調査のため、個々の掲示物等への指摘は余程のことがない限り行なっていません。仮に問われれば検査員から掲示に関するアドバイスを伝えることはありますが、上記2つの事例については、早急な改善が望まれることは言うまでもありません。

別掲

依存防止対策調査項目

- ① RSN(リカバリー・サポート・ネットワーク)ポスターの掲示
- ② 安心パチンコ・パチスロアドバイザー在籍
- ③ アドバイザーポスター掲示
- ④ PPリーフレット設置
- ⑤ 「18歳未満立入禁止」告知物の掲示
- ⑥ 年齢確認の実施
- ⑦ 「子供の事故防止」関連告知物の掲示
- ⑧ 自己申告プログラムの導入
- ⑨ 家族申告プログラムの導入
- ⑩ 上記プログラムの告知状況
- ⑪ 「のめり込み防止標語」の使用
- ⑫ 従業員教育の実施
- ⑬ お客様への適度な遊技方法の案内

東日本大震災から15年、被災ホールが「地域とともに」と決意新たに

東日本大震災の発生から今年3月11日で15年。

住宅再建や道路の整備などの復旧復興は進んだが、いまだに心身へのケアが必要な被災者は少なくない。

年月の経過により、震災の風化や関心の低下も懸念されている。遊技業界でも多くのホールが打撃を受けたが、

岩手の老舗ホール企業カネマンはその苦境を乗り越え、店舗数などの業容を拡大し、

2024年には創業50周年を迎えた。

三浦崇社長に

同社を支えてきた原動力、地域への思いを聞いた。



◀カネマンでは2024年11月に創業50周年を迎えられたことの感謝の気持ちを込めて、各店がさまざまな企画で地域住民をもてなした。写真は「カネマンルート45」の当日の様子で、お笑い芸人の天津木村さんや支援する岩手ビッグブルズの選手たちも招いて、イベントを盛り上げた



いまだ心に傷の被災者懸念される震災の風化

岩手県が昨年9月に発表した同県における「東日本大震災津波からの復興の取組状況と今後の課題」では、課題の一つとして「被災者の心のケア」を挙げ、「トラウマ反応が長期的に継続し、また、いまだフラッシュバック等の症状に悩む人もいる」と説明。

子どもたちに対する支援の必要性にも言及し、沿岸部の要サポート児童・生徒の割合は依然として高く、震災後に出生した子どもにあつても震災を経験した保護者らの心理面による影響が指摘される現状を報告している。

同県は、震災の記憶や経験がない世代が増え、震災の風化や関心の低下が懸念されるとも指摘し、昨年実施した「復興に関する意識調査」において、回答者



の約52%が、震災の風化が「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」と回答したことに言及。震災の風化防止や防災力向上に向けた情報発信、伝承・発信の担

い手の確保や育成に継続的に取り組んでいく必要があるとしている。

15年で4店舗が9店舗に原動力は「感謝」の気持ち

岩手県の老舗ホール企業カネマンは、大槌町の本社が、同町にあった系列店「カネマンルート45」ともども津波で水没。社長だった三浦憲氏（現・会長）の自宅も同町にあつたため被災し、母、妻、娘2人、生後1か月の孫の5人を失った（本誌21年3月号と21年3月号の震災レポート参照）。

被災時、盛岡市にいた同氏と、千葉で働いていた長男の崇氏（現・社長）は大きな悲しみを背負いつつ、社員とともに全力で再建の道りを歩んできた。

それから15年。本社を盛岡市に

移転した同社は震災前の4店舗体制から店舗を増やし、現在は県内各地に9店舗を展開している。17年に社長に就任した崇氏は、いまの同社があるのは地域住民をはじめとする多くの人たちの支えがあったからだと話し、「そうした数多の支援、応援に対する感謝の気持ちがカネマンの力の源」だと振り返る。

社訓は「笑顔・感謝・思いやり」。1974年の創業以来、人の温かさをなによりも大切にし、店舗で生まれる笑顔、周囲への感謝、仲間を思いやるやさしさを原動力としてきたとし、「震災後は、社業を通じて地元・岩手を盛り上げたいという思いが一層強くなりました」と言う。

創業50周年プロジェクトで新たにした地元への思い

崇氏が震災で実感し、社員たちによく話しているのは、「いま自分たちが生きていることは決して当たり前ではない」ということだ。だからこそ、感謝の気持ちを忘れてはいけなく、常に目の前の仕事に全力で挑戦する企業風土の醸成に努めているという。

創業50周年を迎えた2024年

には、より地域に根ざした店づくりを目指し、地域の特産品や魅力を発信する「おもてなし」プロジェクトを全系列店で実施した。

企画内容は各店のマネージャーが決定したとのことで、「カネマンルート45」では駐車場をフェス会場として開放し、グルメブースや同社が支援するプロバスケットボールチーム「岩手ビッグブルズ」の選手によるサイン会など、多彩なコンテンツで地域住民をもてなした。

崇氏は各店が多数の地域住民で賑わったことにふれ、「震災という大きな壁を乗り越えて50周年を迎えられたのは、多くの方々の支えがあったからだ」とあらためて実感しました」と話す。

プロバスケット支援を通じてホール営業の原点を再確認

同社では地域の将来を担う子どもたちの笑顔を守りたいとの思いから、震災後は被災地支援やイベント招待、児童施設の支援などに積極的に取り組んできた。

その一つが毎月11日に県内の被災地のお菓子などを限定賞品として取り揃え、それで得た利益を被災地の放課後学校「コラボスケー

ル」に寄付する活動で、現在、その取組みは来店客が寄付した端玉賞品のお菓子を地域の保育園や児童施設などに寄付する活動として引き継がれている。

プロバスケットボールチーム「岩手ビッグブルズ」に対する支援もCSR活動の環として始めた。「地元の子どもたちに笑顔届けたい」との思いからだ。

きっかけは崇氏自身が同チームの試合を観戦したことだった。震災後、岩手に戻ってきた同氏は気持ちがいよいよ落ち込むようになっていたという。そんななかで観戦したところ、「元気がもたらえたような気がしました」。

観戦を重ねるうちに徐々に笑顔を取り戻せたことから、大槌町の子どもたちを盛岡での試合に招待するなどしているうちに、より深く支援に関わるようになったという。現在は同氏がオーナーを務めているチームの「復興のシンボルを



目指して、県民の皆様とともに歩み続ける」という企業理念はカネマンの社訓とも重なるという同氏は、同チームへの支援はパチンコ業の原点を日々胸に刻むことにもつながっていると言う。

「ホール営業はプロスポーツ観戦と違って、すべての来店客に、勝ち体験を味わってもらうことが難しい。そうであるからこそ、お客様目線で大事にし、来店した一人一人、ひいては地域社会に寄り添った店づくりを心掛けていきたいと思えます」と結んだ。



岩手の老舗カネマンが「常に全力で挑戦を」に込めた思い

遊技機及び計数機の検査結果について

機構検査部が2025年度第3四半期(10月～12月)に実施した立入検査活動の結果をお届けいたします。



機構検査部

3か月間の検査活動を通して、遊技機検査では、ぱちんこ遊技機並びに回胴式遊技機ともに異常事案は確認されませんでした。また、遊技機の『部品取り』と思われる事案も確認されず、好結果であったと考えております。

計数機検査では、玉計数機並びにメダル計数機ともに異常計数事案は確認されませんでした。初

回検査時に計数誤差があり、再検査を実施した店舗が複数ありました。

ご存じのとおり、当機構の検査はおもに、ホールの営業時間内を中心に実施される『サンプル検査』的な活動であり、全国のホー

ルに設置されたすべての遊技機及び計数機を検査できるわけではありません。従いまして、市場に設置された遊技機・計数機の中に、不正事案が未だにまぎれ込んでいる可能性を完全に否定することはできません。引き続き異常事案の撲滅と業界の健全化を推し進めるため、ホールの皆様にはさらなる恒常的な点検の実践をお願いいたします。

立入検査に際してのホール側の受け入れ状況については、『大きなトラブルも無くスムーズに交渉や検査が実施できた』との報告を受けております。実際のホールの現場では営業時間内の対応となることがほとんどでありましたが、

当機構が掲げる『恒常的な不正根絶の取組み』に対する趣旨をご理解いただき、対応していただいたホール担当者、並びに経営者の方々に改めて感謝を申し上げます。第でございます。

3か月間に324店舗を検査

次に検査の実績についてお知らせいたします。

2025年の10月から12月までの3か月間に機構検査部は、別表①の通り、のべ34都府県方面の324店舗(うち計数機検査は132店舗)に伺い、ぱちんこ遊技機758台、回胴式遊技機768台

の合計1526台の遊技機を検査しました。また、玉計数機96台、メダル計数機36台の合計132台の計数機検査も実施し、遊技機と計数機の検査総台数は1658台となりました。

昨年度同時期と比較すると、検査店舗数は22%減、遊技機検査のぱちんこ遊技機で41%減、回胴式遊技機で42%減、逆に、計数機検査の玉計数機で60%増、メダル計数機で69%増となりました。

(※計数機の検査店舗数は67%増)

あわせて別表②には都府県方面別の実績も掲示いたします。

2025年度第3四半期の検査結果報告

別表① 月別検査集計一覧 (2025年10月1日～12月31日)

各月	検査 日数	訪問 都府県 方面 数	検査ホール数			検査台数					月別稼働平均			
						遊技機		計数機		計	ぱちんこ (%)		回胴式 (%)	
			遊技機	計数機	計	ぱちんこ	回胴式	玉	メダル		4円	低貸	20円	低貸
10月	16	13	74	46	120	306	280	34	12	632	13%	34%	27%	43%
11月	14	10	54	47	101	200	228	34	13	475	12%	34%	22%	32%
12月	12	11	64	39	103	252	260	28	11	551	16%	36%	25%	39%
計	42	34	192	132	324	758	768	96	36	1,658	14%	34%	25%	38%

※訪問都府県方面数は各月にわたり訪問した場合、それぞれ1とカウントしているので別表②の都府県方面数と異なります

別表② 都府県方面別検査集計一覧

NO	都府県方面名	検査ホール数			検査台数					月別稼働平均			
					遊技機		計数機		計	ぱちんこ (%)		回胴式 (%)	
		遊技機	計数機	計	ぱちんこ	回胴式	玉	メダル		4円	低貸	20円	低貸
1	札幌方面	10	—	10	36	42	—	—	78	12%	31%	19%	33%
2	旭川方面	8	—	8	32	32	—	—	64	14%	38%	24%	29%
3	青森県	—	7	7	—	—	4	3	7	6%	32%	8%	26%
4	岩手県	9	—	9	36	36	—	—	72	10%	25%	25%	20%
5	宮城県	—	8	8	—	—	4	4	8	15%	34%	25%	29%
6	秋田県	—	8	8	—	—	8		8	5%	13%	10%	10%
7	福島県	—	8	8	—	—	6	2	8	7%	39%	15%	55%
8	東京都	12	—	12	50	42	—	—	92	18%	25%	48%	58%
9	茨城県	10	9	19	40	40	8	1	89	10%	26%	19%	26%
10	栃木県	6	9	15	24	24	7	2	57	9%	26%	23%	32%
11	群馬県	—	8	8	—	—	4	4	8	13%	27%	15%	38%
12	埼玉県	10	—	10	40	38	—	—	78	10%	36%	23%	41%
13	千葉県	12	—	12	44	52	—	—	96	13%	36%	22%	51%
14	神奈川県	10	—	10	52	28	—	—	80	21%	50%	38%	77%
15	新潟県	6	5	11	24	24	4	1	53	14%	40%	27%	36%
16	長野県	—	8	8	—	—	6	2	8	7%	41%	20%	22%
17	静岡県	11	—	11	48	40	—	—	88	19%	37%	27%	39%
18	富山県	6	5	11	20	28	4	1	53	13%	38%	21%	24%
19	石川県	—	8	8	—	—	5	3	8	21%	43%	32%	31%
20	岐阜県	10		10	40	40	—	—	80	20%	32%	24%	31%
21	三重県	—	9	9	—	—	6	3	9	16%	32%	27%	30%
22	京都府	—	9	9	—	—	8	1	9	15%	49%	32%	60%
23	兵庫県	10	—	10	40	40	—	—	80	8%	35%	18%	33%
24	奈良県	9	—	9	36	36	—	—	72	8%	32%	19%	30%
25	和歌山県	8	—	8	32	32	—	—	64	15%	29%	26%	28%
26	岡山県	9	—	9	32	40	—	—	72	13%	30%	24%	55%
27	広島県	10	8	18	32	48	6	2	88	31%	44%	38%	47%
28	山口県	—	9	9	—	—	6	3	9	15%	44%	26%	30%
29	高知県	7	—	7	28	28	—	—	56	10%	34%	19%	41%
30	福岡県	10	—	10	32	46	—	—	78	18%	46%	33%	53%
31	熊本県	9	—	9	40	32	—	—	72	12%	40%	25%	42%
32	大分県	—	6	6	—	—	4	2	6	15%	44%	26%	41%
33	鹿児島県	—	8	8	—	—	6	2	8	15%	24%	18%	29%
	計 (平均)	192	132	324	758	768	96	36	1,658	14%	34%	25%	38%

(2025年10月1日～12月31日)

稼働率の動向

稼働率の動向（頭どり）については、あくまで検査員が検査の際、確認した限りの傾向として付け加えますが、稼働率の平均値を見ると、コロナ禍以前の水準と同程度まで回復しつつある状況とみていますが、4円貸ぱちんこは、右肩

稼働率の動向

4円貸ぱちんこ

コロナ禍以前	23年度	24年度	25年度
16%	16%	17%	14%(14%)

低貸ぱちんこ

コロナ禍以前	23度	24年度	25年度
35%	36%	38%	37%(34%)

20円貸回胴式

コロナ禍以前	23度	24年度	25年度
21%	23%	27%	25%(25%)

低貸回胴式

コロナ禍以前	23年度	24年度	25年度
31%	31%	36%	38%(38%)

※コロナ禍以前：2018年1月1日～2019年12月31日の2年間
※()は本年度第3四半期（10月～12月の平均）

下がりやや苦戦している印象です。低貸ぱちんこは横ばいながらやや改善傾向で、20円貸回胴式でも改善傾向、低貸回胴式も改善がみられました。
4円貸ぱちんこの苦戦はヘビーユーザーの客離れ、そのユーザーが低貸へ移行している可能性も否めません。
20円貸回胴式では、スマート遊

誓約書の提出状況について

技機の拡充やゲーム性の向上により、一部のスリープユーザーの掘り起こしや、新規ユーザーの獲得に成功し、高稼働に貢献している状況が続いていると思われます。

月別誓約書提出ホール数

月	10月末	11月末	12月末
誓約書提出ホール数	6,508	6,495	6,487
前月との差異	-19	-13	-8

※9月末は6,527ホール
(2025年10月1日～12月31日)

機構に対して誓約書を提出しているパチンコホールは本年度12月末現在で6487店舗であります。昨年度12月末の時点では6701店舗で、マイナス214店舗となっています。また、既に廃業されているにも関わらず、機構宛に連絡の無い店舗は誓約書提出店舗としてカウントされていることから

2巡目の依存防止対策調査について

ら、実際に営業されている店舗数は、その廃業店舗数を割り引く必要があることを付け加えます。立入検査を開始した2007年4月から誓約書の提出店舗数は減少の一途をたどっておりますが、ここ最近では店舗数の減少にやや歯止めがかかってきている状況です。

最後に、おもに立入検査と一緒に実施している依存防止対策調査について触れさせていただきます。機構検査部の依存防止対策調査は、2巡目の調査を行なっております。2巡目の調査では1巡目の比較検討を詳細に行ないながら、単なる現認調査だけに留まらず、聞き取り調査にも重点を置き、各種フォローアップも実践してまいりますので、ホールの皆様にはなお一層のご協力とご理解を賜りたいと思っております。

5号営業に学ぶ 射幸性に頼らない営業



三堀 清

みほり きよし

昭和32年 神奈川県生まれ
早稲田大学法学部卒
司法修習終了後
昭和63年 弁護士登録(第二東京弁護士会)し、大手企業の法律問題を扱う法律事務所勤務を経て
平成8年 早稲田大学大学院修士課程終了
平成9年 三堀法律事務所開設
令和6年 丸ビル総合法律事務所パートナー
現在、パチンコホールを始め企業関連の民事事件を手がける

1 統計に見る 5号営業の成長

4号営業のパチンコホールは、長期的な売上高及び参加人口並びに営業所数の減少が止まらないのに対し、5号営業のゲームセンター等は着実に売上高が増加し、成長している。

ゲームセンター等には、ショッピングセンター・デパート等の併設施設や小規模施設で風俗営業の許可不要の非対象店舗も多数ある(風適法2条1項5号、同法施行令1条、解釈運用基準第3・3(1イ)。一般社団法人日本アミューズメント産業協会が発行する「J A I

A P R E S S」2025年8月号によると、非対象店舗を含めた2014(平成26)年から2023(令和5)年までのゲームセンター等の営業所数・設置遊技設備台数の推移を見ると、1万5611軒・48万6000台から8548軒(許可店舗3915軒、非対象店舗4633軒)・55万0597台、同期間の売上高は4221億7000万円から5384億0500万円と推移しているとのことである。店舗数は減少しているが設置台数は増加している。すなわち、大型化が進み、売上高も増加している。同誌は、来店者数の回復及びプライズゲームの需要拡大を背景に、「専業のゲームセンターが減少する一方で、

ショッピングセンター内の許可店舗や、その他異業種との併設による許可店舗が増加している構造変化がある」と分析している。

2 プライズゲームの成長要因 としての

消費者目線の利点・妙味

「J A I A P R E S S」誌は、ゲームセンター等の成長の背景として、来店数の回復及びプライズゲームの需要拡大を挙げる。プライズゲームとは、物品の獲得自体がプレイの内容となっているクレーンゲーム等をいう。

クレーンゲームは、1プレイ100

円という料金設定が多く、パチンコの
ように1回に数万円を使うことはなく、
操作が単純でわかりやすく、安い料金
で気軽に楽しめる。

クレーンゲームの景品(賞品)はぬい
ぐるみが定番であったが、今では食
品・飲料、嗜好品及び雑貨・玩具等「
日常生活の用に供すると考えられる物
品」の取り揃えが豊富である(風適法施
行規則36条2項2号参照)。

また、5号営業では、18歳未満の子
供も入店させることができる(風適法22
条1項5号)。

このように、5号営業のなかでもク
レーンゲームを設置したゲームセンタ
ーは、家族揃って安い料金で気軽に遊
べ、多様な日用品をゲットできるとい
う消費者目線での利点・妙味があり、
大衆娯楽として、昭和の高度経済成長
期のパチンコのような位置にあるので
ある。

3

ホール業界が

参考にすべき点

景品提供という点でパチンコと共通
性がある5号営業のクレーンゲームが、
安い料金で気軽に遊べて景品として多
彩な日用品をゲットできることが魅力

となって多くのファンを惹き付けてい
る現状は、ホール業界にとって、大い
に参考になるのではないか。

特に、最近のパチンコ機及びスロッ
ト機は操作が複雑なうえ、大当たりの
演出が過剰であるため、ヘビーユーザ
ーでなければプレイが難しく、プレイ
を始めると「止め時」が難しく多額の遊
技料金が必要である。安い料金で気軽
に遊べるものではないのである。

ライトユーザーを取り込み、ミドル
ユーザーを取り戻すには、このような
遊技機の傾向を方向転換し、思い切っ
て昭和時代のような単純なアナログ遊
技機に原点回帰することも一案である。

4

遊技機の

「アナログ化・原点回帰」の

法令上のハードル

では、「アナログ化・原点回帰」寄りの
遊技機を製造してホールに設置するこ
とはできるのであろうか。

ホールに設置する遊技機は「著しく射
幸心をそそるおそれのある…基準」に該
当してはならないとされる(風適法4条
4項)。この「基準」は、パチンコは一定
時間、スロットは一定回数プレイをし
た場合の出玉率の上限だけでなく下限も、

所定の範囲内に収まることを求めるも
のである(風適法施行規則8条の表)。

更にホールに設置する遊技機は、実
際上、公安委員会から型式の検定を受
ける必要がある(風適法20条4項)、そ
のためには、先述の「基準」に該当しな
い旨の「技術上の規格」に適合すること
を確認する試験を経なければならぬ
(風適法20条3項、5項、遊技機規則6
条及び各別表)。

「アナログ化・原点回帰」寄りの遊技機
をホールに設置するには、この試験に合
格することがポイントとなるのである。

5

「技術上の規格」の基本思想

ところで「技術上の規格」は、遊技機
に電子制御部品の使用を義務付けては
おらず、第一種・第二種非電動役物と
いう電子制御とは無関係の役物類型も
定義してはいるが(同条の別表第2(2)イ、
ハ)、主基板、副基板、設定変更装置、
普通・特別電動役物等、多くの電子装
置を列举しており、電子的統制を前提
にしている(同第2(1)イ、ハ、(2)イ、ハ、
ホ、ヌ、(3)ホ、ト、ヌ)。要するに、「技
術上の規格」の基本思想は、遊技結果
に影響する機能は主基板に担当させ、
「主基板が遊技結果を決定する」という

ことに尽きる。

そして「技術上の規格」は、主基板及びその他の基板類の配置を工夫し、点検・確認も容易にすることにより、「遊技機の公正を害する調整」ができないようにしているのである（遊技機規則6条別表第4(1)リイ、第5(1)ヌイ）。

「アナログ化・原点回帰」寄りの遊技機には遊技結果の制御を担う主基板を組み込まないとすると、「主基板が遊技結果を決定する」という「技術上の規格」の基本思想に沿わないことになり、遊技結果が全て物理的な挙動に依存することになるから、部品の摩耗、温度・湿度変化や個体差から所定の確率分布を再現できないという技術的限界に突き当たることになる。

更に、主基板を組み込まないということは、主基板及びその他の基板類の配置を工夫することにより不正改造を防止するという手法とも相容れず、部品の交換や加工による不正改造が容易となるという難点も生ずる。

6 「アナログ化・原点回帰」寄りの遊技機で

検定を受けるための課題

以上、結論としては、現行の法令は

5号営業のゲームセンター等が着実に売上を伸ばし、成長している。中でも1プレイ100円程度で遊べ、景品の獲得自体がプレイの内容になっているクレイゲームは操作が単純で分かりやすい。安い料金で家族そろって手軽に遊べ、景品として多彩な日用品までゲットできるクレイゲームの人気は、景品提供という点で共通性がある4号営業のパチンコホールでも参考になるのではないか。

操作が複雑で大当たりの演出も過剰なパチンコ、パチスロ最新機種はヘビーユーザーでなければプレイ自体が難しい側面がある。

ライトユーザーを取り戻すためには、安い料金で気軽に遊べる昭和時代のような単純なアナログ遊技機に原点回帰することも一案ではあるが、

たとえ「アナログ化・原点回帰」寄りの遊技機であっても、

検定を通すためには

電子的に射幸性の抑制と公正を担保する必要がある点は、最新機種と同様だ。

「主基板が遊技結果を決定する」という

思想に基づき、出玉率の上限を制限して射幸性を抑制するだけでなく、出玉

率の下限も所定の範囲内に安定させ、不正改造を防止して遊技の公正を確保するものであるから、電子制御の全くない（非電子的な）機械式の遊技機は、型式試験を通過することが難しいとい

うことになる。

「アナログ化・原点回帰」寄りの遊技機で検定を受けるためには、「見た目」や操作性及び演出を徹底的に簡素化しつつ、中枢部は規格に沿って電子的に射幸性の抑制と公正を担保するという方向とならざるを得ないというのが結論となる。



店長に求められる知識

計 数 管 理 XIII

パチンコ店舗管理者実務能力検定試験

通称・P能検。エンタテインメントビジネス総合研究所が2005年から実施。対象の中心はホール店長やその候補者。筆記試験は7科目（一般常識・業界知識・法律知識・不正排除・計数管理・機械整備・設定管理、顧客サービス、経営マネジメント、マーケティング、労務管理）で構成されており、全100問が出題される。

【選択肢】
a : TO
b : T1O
c : TY
d : T1Y

【問題】
次のスランプグラフにおいて、
(ア) が示すものはどれか。
※図1

スランプグラフ

パチンコ店の店長にとって、計数管理の知識は必須です。パチンコ店の利益管理に直結する知識であり、パチンコ店の商品である遊技機の運用を左右します。他の業種とは異なるパチンコ店ならではの知識でもあります。計数管理の知識を身につけ、より魅力的なパチンコ店づくりを目指しましょう。今回は「顧客」を軸として、計数管理の基本となる用語や公式について問題を解きながら学んでいきます。最初の問題はスランプグラフに関する問題です。データを視覚的に確認できるツールであるスランプグラフの読み方を確認します。

【正解と解説】
正解はaです。
スランプグラフを利用すると、各遊技機での時間の経過に伴う玉・メダルの増減状況を視覚的にとらえることが出来ます。図1の(ア)は、大当たり開始から時短終了までを示しています。特賞中全体のアウトのことを「TO」と表します。
以下が他の選択肢の説明です。

【回答分布】
a : 42・3 %
b : 9・8 %
c : 29・9 %
d : 18・0 %

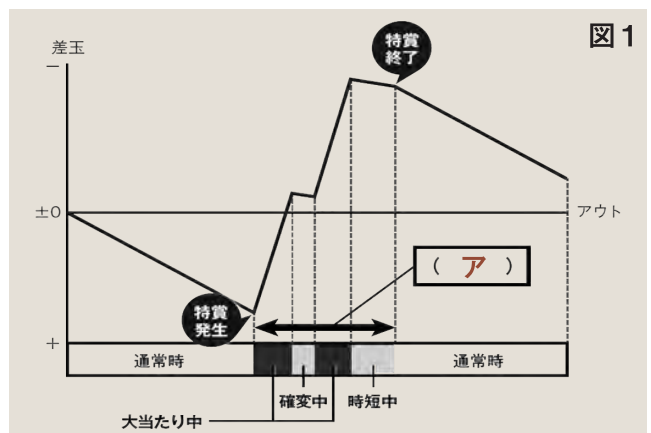
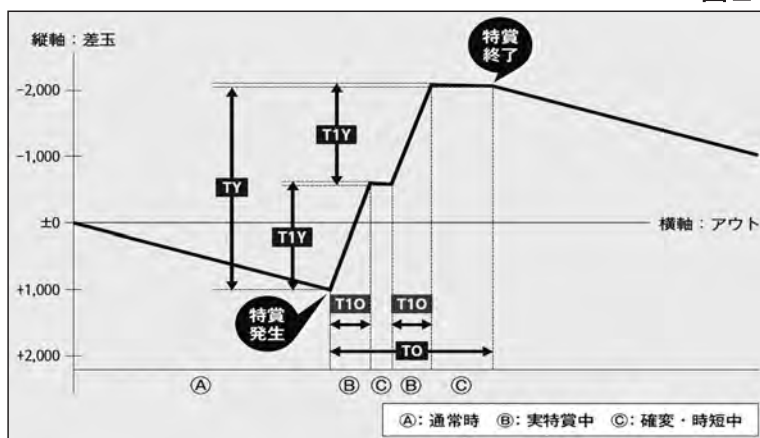


図2



「TIO」は、実特賞1回中のアウトのこと。「TY」は、特賞中全体の差玉のこと。「TTY」は、実特賞1回中の差玉のこと。

※(図2参照)

スランプグラフを、ユーザー向け情報として提供している店舗も多くあります。ユーザーにスランプグラフの見方・特性を理解してもらい、それぞれの遊技機の良さを伝えるツールとして活用していきたいでしょう。

千円ゲーム数

次の問題は、投入金額千円あたりのゲーム数に関するものです。

【問題】

3枚掛けで1ゲームを消化するパチスロ機において、ベースが65%のときの1000円当たりのゲーム数はいくつか。遊技料金は1000円46枚とする。

(小数点第2位を四捨五入とする)

【選択肢】

- a : 23・1ゲーム
- b : 43・8ゲーム
- c : 47・6ゲーム
- d : 70・8ゲーム

【回答分布】

- a : 27・5%
- b : 46・5%
- c : 20・8%
- d : 5・2%

【正解と解説】

正解はbです。

パチスロ1000円あたりのゲーム数を求める公式は以下となります。

1000円ゲーム数
= 1000円分の売上メダル枚数 ÷ 1ゲーム当たりの消費枚数

1ゲーム当たりの消費枚数は、B% (吸込み率) によって計算できます。

$$B\% = 1 - \text{ベース} \\ = 1 - 65\% = 35\%$$

1ゲーム当たりの消費枚数
= 3枚 × B% = 3 × 35% = 1.05枚

1000円ゲーム数 = 46 ÷ 1.05 = 43.809... となります。

スタート回数

1回回数に関する問題です。

【問題】

他店調査時の試打結果が以下のとき、アウト玉数100個当たりのスタート回転数として、正しいものはどれか。遊技料金は1個4円とする。

(小数点第3位を四捨五入とする)

遊技結果	投資金額	3,000円
	累計スタート回数	66回
	その他入賞口への入賞回数	5回
	大当たり回数	0回
スペック	スタート入賞口による賞球	4回
	その他入賞口による賞球	3回

【選択肢】

- a : 6・41回
- b : 7・27回
- c : 8・80回
- d : 15・59回

お客様はどのような部分でパチンコ店を評価するのでしょうか？

評価ポイントは、色々とあるでしょうが、体感する頻度が多いポイントとしては、千円当たりのスタート回数、ゲーム回数があります。

運営サイドの視点ではなく、お客様目線での数値認識を忘れないようにしましょう。

次は、他店調査結果からのスタ

【回答分布】

a : 48 : 2 %
b : 14 : 6 %
c : 21 : 9 %
d : 15 : 3 %

【正解と解説】

正解は a です。

まずは、投資金額 3000 円での発射玉数を求めます。

発射玉数 = セーフ (賞球数) + 貸玉数

セーフは、スタート入賞口での賞球数とその他入賞口での賞球数から求めます。

セーフ

= スタート入賞口での賞球数 + その他入賞口での賞球数
= (66 回 × 4 個) + (5 回 × 3 個) = 264 個 + 15 個 = 279 個

貸玉数

= 3,000 円 ÷ 4 円 = 750 個

発射玉数

= 279 個 + 750 個 = 1,029 個

アウト 100 個当たりのスタート回数

= 累計スタート回数 ÷ 発射玉数 × 100
= 66 ÷ 1029 × 100 = 6.41 (回)

自店と競合他店の状況を比較する

ために他店調査を行った結果を比較可能な数字に置き換える必要が出てきます。入賞口による賞球数の違いなども含め、比較分析をより正確に行うためにも、細かいデータの収集、計算、分析が行えるようにしておきましょう。

次の問題は、客滞率についてみてみましょう。

客滞率

【問題】

客滞率に関する記述として、最も適切なものはどれか。

【選択肢】

- a : お客様が持ち玉で粘るほど客滞率は低くなる。
b : 通常時に売上玉のみを使用して遊技したとき、客滞率 100% となる。
c : 休日よりも平日の方が客滞率は高い傾向がある。
d : 客滞率は B サ × 貸玉金額で求めることができる。

※ B サは特賞間 (特賞中でない状態) 差玉

【回答分布】

a : 10 : 7 %
b : 49 : 0 %
c : 12 : 3 %
d : 28 : 0 %

【正解と解説】

正解は b です。

客滞率とは、通常時の売上玉遊技に対して、売上玉遊技と持ち玉遊技の合計 (B サ) の比率を表した数値です。

$$\text{客滞率 (\%)} = \text{B サ} \div \text{売上玉} \times 100$$

で求めることが出来ます。

通常時に売上玉のみを使用して遊技した場合、B サは売上玉となるため、客滞率 100% となります (打ち込まない売上玉分を除く)。

客滞率は、利益計画 (シミュレーション) を行う上で、大きな影響を与える項目です。そのため、客滞率の性質をしっかりと理解した上で、活用していきましょう。

また、客滞率は「お客様の粘り

率」を表す側面もあります。客滞率はお客様にとつての不快感によっても低下します。客滞率が上下した場合には、その要因が何であるのかの確認を怠らないようにしましょう。

計数管理は、遊技機視点での見方が中心となっていますが、自店のユーザーを維持・増進していくための貴重な判断材料にも活用できます。計数をお客様視点でも見ていく癖付けを行い、増客につなげていきましょう。

今回登場した計数用語

用語	意味・公式
アウト	打ち込んだ玉の数
セーフ	払い出された玉の数
ベース	通常時の出玉率 通常時のセーフ ÷ 通常時のアウト × 100
出玉率	セーフ ÷ アウト × 100
TO	特賞中 (確変・時短中も含む) のアウト
TIO	実特賞 1 回中のアウト
TY	特賞中 (確変・時短中も含む) の差玉
T1Y	実特賞 1 回中の差玉
千円ゲーム数	売上メダル千円当たりの平均ゲーム数
客滞率	「売上玉遊技」に対する「売上玉と持ち玉遊技」の合計の比率を表したもの B サ ÷ 売上玉 × 100
B サ	特賞間における差玉

次号(6月発行)から季刊となります。

諸事情により、「機構ニュース」は次号から季刊(年4回発行)となります。

発行月は次号「夏号」が6月発行。

以降「秋号」9月発行、「新年号」12月発行、「春号」3月発行です。

引き続きよろしくお願いいたします。

プロバが福祉作業所に 寄付金と車いす寄贈

広島県を中心に店舗展開する
プロバグループ(本社:広島市、平
本直樹代表取締役CEO)の特定
非営利活動法人フォルツァプロバ
(村上正理事長)は2025年12月17日、
障がい者支援の環として、福祉作業所の
全国組織きょうさんんの広島県支部に
10万円と車いす1台を寄贈した。

フォルツァプロバは03年に設立された
NPO法人。スポーツ大会を主催するほ
か、福祉作業所で働いている人々をプロ
バグループの施設に招待し、ゲームやボ
ウリングを通じて交流を楽しむイベン
トを開催するなど、障がい者支援に取り組
んできた。

同グループでは、「これからも地域のす
べての人々と共に生きる社会の実現を目
指し、取り組んでまいります」とコメント
している。

真城が小牧市と災害時協定 障害者雇用で県知事表彰も

愛知県岐阜の両県に店舗展開する真城
(本社:愛知県名古屋市中区、真城貴仁社長)
は2025年12月25日、同県小牧市との
間に、災害時における相互支援を目的と
した災害支援協定を締結した。

本協定に基づき、大規模災害発生時に
は同社の系列店「プレイランドキャッスル
小牧店」の駐車場を「時的な避難スペース
として開放するとともに、水やカップ麺、
米、菓子類などの非常食を提供する予定。



フォルツァプロバの村上理事長(右)ときょうさんん広島県支部の仲田支部長

同市役所で行なわれ
た締結式には真城社長
と笹原浩史副市長が出
席。同社では「南海トラ
フ地震をはじめとする大
規模災害の発生が
懸念される中、当

真城社長(右)と小牧市の笹原副市長

名古屋青少年文化センタ
ーで行なわれた愛知県
「令和7年度障害者雇用優
良企業等表彰式」で県知事
表彰を受賞した。障害者雇
用に対する継続
的な取り組みが評価されたも
ので、同社では「今後も安心
して働き続けられる職場環
境づくりに努め、障害者雇
用の推進と定着に向けた取
組みを継続してまいります」
とコメントしている。



真城吉仁副社長(右)と
愛知県の大村秀章知事



編集後記

ミラノ・コレティナ五輪が終盤を
迎えている。日本勢メダラッシュ
の先陣を切ったのはスノーボード男
子ビッグエアで金メダルの木村葵来
た。父が勧めた？坊主頭
(きら)。
でも、あの坊主頭にグッと来た。父
親から「短くしろ、雑念を捨てろ、
みたいに言われて」今シーズンから
髪型を変えたという。お父さんも鼻
が高いだろう。
同じスノーボード男子ハーフパイ
プの平野歩夢は骨盤(腸骨)骨折か
らわずか1か月で競技に臨み7位
に入った。開口一番「生きて戻って
これて良かった」と語った率直さに、
こちらも泣きそうになった。

前号でもご案内した、機構宛誓
約書の改定に同意いただく手続き
が締切間近となった。2月27日(金)
が改定誓約書への同意期限となっ
ている。すでに全国約6300のホー
ル営業者様から同意を頂いた。皆

様のご同意が、新年度から始める
各種ガイドライン遵守状況確認の
前提となる。改めてご理解、ご協力
をお願い申し上げます。(Y)

まもなく東日本大震災から15年を
迎える。被災地では施設や道路の整
備が進んだが、いままも水産業にはダ
メージが残っている。心のケアも重
要なテーマとなっており、被災者を
取り巻く生活環境の変化により、抱
える問題は複雑化、多様化している
という。

一方、年月が経ち、震災の風化、
被災地に対する関心の低下が懸念さ
れているという。今回の被災地レポ
ートで協力してくださったカネマン
の三浦社長からは「こういう節

震災被災地の 「いま」

目につく振り返
ったり、思い出していただけのは
とてもありがたいこと」との言葉を
頂戴したが、日頃の自分はどうなの
か、胸が痛んだ。(N)

おかしいと思ったら すぐここへ <https://www.suishinkikou.or.jp/>

不正排除に 全力

遊技機も 計数機も



第三者機関
遊技産業健全化推進機構

Organization for
the Sound Development of
the Pachinko & Pachislot Industry